

Pick up! ごみ

ごみの削減は、一人ひとりの心掛けから。

道路の美化清掃を通じて、地域みなさんと快適なみちづくりを進めていくボランティア・サポート・プログラム。参加している団体の共通の悩みは道路に捨てられるごみです。弁当箱、たばこの吸殻、空き缶に空き瓶…。普段、我々が利用している道路や公園などの駐車場を見ても分かるように、運転しているとごみの多さが目に付きます。「自分さえよければ…」という軽い気持ちからくるモラルの低下。これらごみを収集し処理する費用は、ガソリン税などの道路特定財源が充てられる場合が多く、その分ほかに必要な道路の維持管理ができなくなります。

新潟市（巻広域地区を除く）では2008年6月から資源ごみ以外のごみが有料化になり、市販される指定袋入りのごみしか収集されなくなります。すでに実施している地域では、家庭ごみをコンビニや高速道路のパーキングエリアなどに持ち込む人が後を絶たないという事例もあり、今後この問題の深刻化が懸念されます。



新潟西バイパス新通ICから高山IC付近。IC周辺の側道や高架下には、空き缶やペットボトルなどのごみが、無断に捨てられています。

気軽に始めよう、ボランティア！

ボランティア活動は決して難しいものではありません。気軽に始められて、自分の手で地域をより良くしていくという充実感も得られるとご感想が寄せられています。普段の暮らしで毎日使う道。みんなで力を合わせてきれいにしていく楽しさを味わってみませんか？



ボランティアってこんなこと

国道の清掃
歩道に捨てられているゴミの回収をはじめとして、道を気持ちよく使うために清掃活動を行います。

花壇・樹木の手入れ
緑ある地域づくりに貢献。花壇に花を植えたり、水をあげたりなどの管理や樹木の剪定を行います。

ほか冬期の歩道除雪など

にいこくのサポート

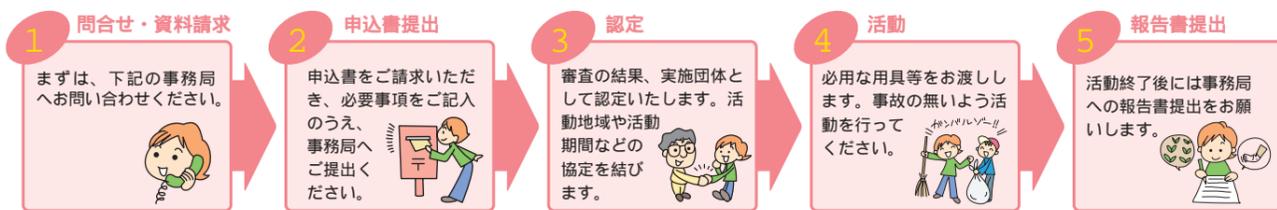
清掃用具の支給
ごみ袋
清掃用具の支給

傷害保険の加入
サインボードの設置
サインボードの設置

ベストなどの支給
園芸用品・花苗等の支給
その他、冬期の除雪機械の貸し出しなど

ごみ処理など市町村にもご協力をいただいています。

参加のお申し込みは簡単です



お問い合わせ・お申し込みは

ボランティア・サポート・プログラム事務局

国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所 管理第一課

〒950-0912 新潟市中央区南笹口2丁目1番65号 TEL025-246-7764

新潟維持出張所 〒950-0914 新潟市中央区紫竹山3丁目12番2号 TEL025-244-3483 黒埼維持出張所 〒950-1102 新潟市西区善久1072 TEL025-377-2370
 新発田維持出張所 〒957-0011 新発田市大字鳥潟665 TEL0254-26-0337 水原維持出張所 〒959-2003 阿賀野市安野町10の5 TEL0250-62-3100
 村上維持出張所 〒958-0834 村上市新町13番1号 TEL0254-53-2942

この「かわら版」は新潟国道事務所のホームページ「みちなび新潟」でもご覧いただけます。 <http://www.2159.go.jp>



道路がもっと好きになる。

平成19年11月1日発行 vol.18

ボランティア・サポート・かわら版

新潟国道事務所みちなび新潟 <http://www.2159.go.jp> ボランティアサポートプログラムin北陸 <http://www.hrr.mlit.go.jp/road/vsp/index.html>

特集

道路愛護団体表彰

国土交通省では毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路の正しい利用や道路愛護思想の普及に努め、みなさんからもっと道路に親しんでもらえるようにと、全国的にさまざまな運動を行っています。その運動のひとつで、新潟国道事務所が主催するのが道路愛護団体等の表彰です。今回のかわら版は、8月29日(水)に行われた表彰式の様子を報告します。

毎年この時期に行われる道路愛護団体表彰は、地域の道路美化などに貢献する団体、個人を対象とし、その功績に感謝の意を表すものです。今年度は当事務所管内から、新潟市立宮浦中学校生徒会が国土交通大臣表彰を受賞したのをはじめ、合計7団体が受賞。このうち、VSPメンバーから5団体が受賞しました。



この日会場に集まった各団体の代表者に向けて、新潟国道事務所の森若峰存所長は「『道路ふれあい月間』は、『快適で安全な道路環境』を目的に、もっとみなさんに道路に関心をもってもらおうと毎年8月に行い、昭和33年から続けている運動です。みなさんあっての道路ですので、みなさんの揺るぎない活動を今後も続けていってほしいです」とあいさつしました。

森若所長から感謝状や記念品を贈呈された代表者のみなさんは、はじめは緊張した面持ちでしたが、表彰式後に行われた懇談会では笑顔で活動報告をするなど次第にリラックスした表情に変わり、受賞の喜びとともに長年の活動に対する自負がみなぎっていました。みなさん、受賞おめでとうございます。

右上 / 受賞団体の皆さん
左下 / 表彰式の様子



道路愛護団体表彰

受賞者紹介

地域をもっと美しく！表彰団体の活動を紹介します。

国土交通大臣表彰



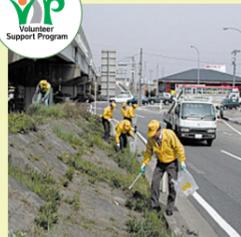
新潟市立宮浦中学校(新潟市中央区)



昭和57年から26年間にわたって、国道7号明石通から東大通(1.4キロ)の歩道など、月1回の清掃を実施しています。これは同校の生徒会が地域美化活動の一環として、通学経路になっている区域を「クリーン作戦」と銘打って、同校の伝統行事として代々引き継がれています。

新潟県トラック協会新潟支部特積部会(新潟市中央区)

「さわやか運動」と題して、平成4年から16年間にわたって活動。国道7号竹尾IC橋の下や周辺の法面、側道において、月1回清掃を行っています。



(社)日本道路協会会長表彰

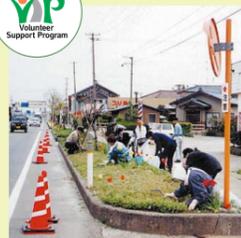
「道の駅」朝日(国道7号朝日村)



平成5年に「道の駅」として登録後14年間にわたって清潔なトイレの維持や道路情報の提供などに尽力。「道の駅」の基本機能である休憩、情報発信、地域との関係を十分に果たすとともに、伝統文化の伝承と発展、地場の特産品の販売など、村の活性化の中心施設として利用者増加に努めています。

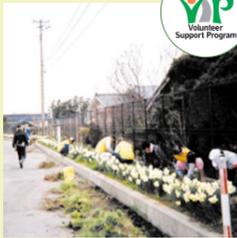
荒川町ふれあい広場実行委員会(荒川町)

ボランティア活動の一環として平成14年から活動。6年間にわたって国道7号荒川町下鍛冶屋から藤沢地先(1.4キロ)の国道沿線において、月1回歩道の清掃や植栽の管理を行っています。



北陸地方整備局長表彰

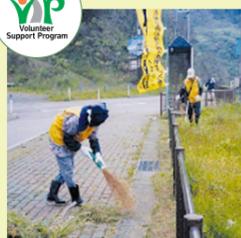
大島上組会(三条市)



平成14年から6年間にわたって活動。国道8号三条市大島地内(0.74キロ)において、月2回と気付いた際に駐車帯や歩道などの清掃、植栽の管理を行っています。

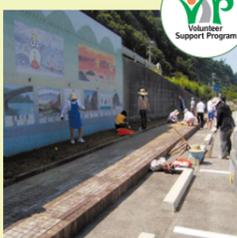
さざなみ会(山北町)

平成16年から3年間にわたって活動。国道7号岩船郡山北町大字中浜伊野野地先(山形県との県境)のパーキング(1,900平方メートル)において、PAの清掃や植栽帯の除草を行っています。



新潟国道事務所長表彰

やすらぎ快道を育てる会(山北町)



平成17年から3年間にわたって活動。国道7号岩船郡山北町府屋(1.3キロ)において、モザイク画など修景画等の維持管理や歩道やPAの清掃、植栽の管理を行っています。

懇談会開催

サポーターの声を紹介します。

表彰式に続いて、受賞した各団体の代表者と新潟国道事務所の担当者が参加し懇談会が行われました。各団体の活動報告をはじめ、活動してみたら新たに気付いた問題点や日ごろの苦悩など、さまざまな意見交換が行われました。

国土交通大臣表彰を受けた宮浦中学校からは「子どもたちが登校する際に、月1回ゴミ袋を持って通学路のゴミを拾いながら学校に来ます」との活動報告がありました。この取り組みは、わざわざゴミ拾いの日を設定しなくても気軽に美化運動ができるというヒントになりそうです。

これらの報告や問題点は各団体の今後の活動に際して参考になったようで、有意義な懇談会となりました。各団体のコメントを紹介します。



「大人はドライバー、子どもは歩行者というように、大人と子どもでは道路の認識がまったく異なります。子どもは大人が見ている以上にゴミに対しての関心が高いと感じています。新潟駅周辺のゴミが多いので、クリーン作戦でもっとゴミを減らしたい」
(新潟市立宮浦中学校)

「駐車場に花壇があるのですが、そこにゴミが捨てられていることが多いです。清掃してもまた捨てられて...の繰り返しで、手をやいています」
(大島上組会)

「竹尾IC周辺の清掃を行っているのですが、除草した数カ月間はきれいなんです。でも雑草が伸びてくるとゴミが多くなります。これは人間の心理的なものなのではないかな」
(新潟県トラック協会新潟支部特積部会)

「最近では災害が多く、道の駅に行けば何でもあり、助けてもらえるという認識の方が多いようです。防災情報などを備えているところと、未だ準備できていないところがあります。そうした状況で実際に道の駅として何が出来るのか。考えさせられますね」
(「道の駅」朝日)

「山形県との県境で活動しているため、活動範囲が山形県の部分も含まれています。最初は会の中で『山形県をなぜ新潟県がやらなければならないのか?』という疑問もありましたが、最近は『ボランティア活動に境界はない』という考えが浸透してきました」
(さざなみ会)

「府屋の入口にある国道7号の駐車場に48集落の名物や特産品をタイルに貼って山北町をアピールしています。ゴミ問題についてもその周辺を中心に取り組んでいますが、植栽帯をきれいにすることでドライバーとしても走りながら安らぎを覚えますね」
(やすらぎ快道を育てる会)

新規参加団体のご紹介

— VSPに新たな仲間が増えました —

きらきらロード隊 (国道7号村上市本町)

歩道清掃や植栽の管理をしています。花はパンジーやマリーゴールドを植えました。花に水をあげすぎないよう気をつけています。周囲の方からは「心が和む」と、喜んでもらえるのが嬉しいです。みんなで集まってお話をしながらの作業がとても楽しいです。

三川商工会 (国道49号阿賀町黒岩)

揚川パーキングの花壇の手入れをしています。ゴミの回収から土の手入れ、花植え、除草作業まで年間を通じて活動しています。今年はペゴニア450本を植えました。もともと道路愛護団体として活動していましたが、VSPへの参加で、メンバーの意識も向上しています。

(株)丸山自動車 (国道8号三条市須頃)

除草や植栽の管理をしています。草取りは週2~3回と本当に大変ですが、社内的にもかなりプラス効果がありました。また周囲からも「うちもやりたいが(VSPについて)教えて」という声も頂いています。今後も地域ぐるみで地元の活性化に役立てばと思います。